

尼崎市公設地方卸売市場 概要

■沿革

尼崎市の卸売市場は、昭和 28 年、尼崎市昭和通 2 丁目に中央卸売市場として開業し、潮江 4 丁目の現在の位置に新市場を建設して昭和 42 年に移転し、平成 19 年に地方卸売市場に転換し、現在に至っています。

本市場は築後 50 年を経過する施設が多く存在し、必要な施設更新ができなかったことなどから、施設の老朽化に加え、温度管理機能、衛生管理機能、食品加工機能などに課題がございます。

これらの状況等を踏まえ、今年度より「今後の市場のあり方」の検討を進めており、その基本方針(案)を策定しましたので、報告するものです。

昭和 28 年	尼崎市中央卸売市場開場（昭和通 2 丁目）全国 12 番目
昭和 42 年	新市場開場（所在地：潮江 4 丁目に移転）
～	用地拡張、水産仲卸店舗増設、冷蔵庫増設、関連店舗棟増設など
平成 19 年	尼崎市公設地方卸売市場に転換

■本市場の概要

- 1) 施設名称 : 尼崎市公設地方卸売市場
- 2) 取扱品目 : 青果物、水産物、乾物、みそ
- 3) 位置 : 尼崎市潮江 4 丁目 4 番 1 号
- 4) 用途地域 : 準工業地域
- 5) 防火準防火 : 準防火地域（建築基準法第 22 条区域）
- 6) 都市計画 : 都市計画施設 市場
(昭和 40 年 3 月 22 日市告示第 689 号)
- 7) 建ぺい率 : 60% 容積率 : 200%
- 8) 敷地面積 : 約 6.3ha
- 9) 延べ床面積 : 約 45,000 m²
- 10) 構成 : 卸・仲卸（青果部、水産物部）、指定店舗、関連事業者

参考資料 2

■本市場の立地特性

- ★関西圏の食品物流拠点となる立地 ……
尼崎 IC をはじめ、広域道路ネットワークと円滑に接続
- ★大阪や神戸に挟まれた大消費地に立地 ……
食品を含めた商業などの経済活動に非常に有利
- ★人口集中地区で集客、労働力確保に有利 ……
住宅、商業業務機能が集積する JR 尼崎駅からアクセス良好



■今後の取組

来年度以降、本市場の立地特性を活かして、民間ノウハウなどの活用を視野に事業手法や契約手法のほか、整備事業概要の検討を進めるとともに、併せて、市場関係者の事業継続意向や使用する市場機能などを調査し、市場規模等を検討するなど「今後の市場のあり方」の検討を進めていきます。